

ジョージア政治・経済 主な出来事

【2016年8月1日～2016年8月7日】

〔当地報道をもとに作成〕

平成28年8月15日

在ジョージア大使館

1. アブハジア・南オセチア

【アブハジア】

▼第38回IPRM会合(2日)

・ガリにて第38回IPRM会合が行なわれた。アブハジア側は5月にフルチャで起こった住民男性の射殺事件に関する捜査状況を報告。2007年から2011年にかけてアブハジア内で起こった3件の犯罪事件についても議論された。エングリ橋の通過に関する規則の変更について情報を交換。参加者は、9月からの学校の再開に向け、行政境界線を越えて通学する生徒に配慮することで合意。

2. 外 政

▼アルメニア外相のジョージア訪問(1日)

・ナルバンジャン・アルメニア外相がジョージアを訪問。マルグヴェラシヴィリ大統領、クヴィリカシヴィリ首相、ジャネリゼ外相と会談。
・会談で、「ク」首相は、エレヴァンでの最近の事件について懸念しており、平和的な手段による状況の鎮静化を歓迎すると述べた。会談では、二国間の善隣関係および貿易・経済協力の発展について議論された。アルメニアからジョージアへの訪問者の増加の動きが指摘され、交通分野における今後の協力の強化に対する関心が表明された。エネルギーの分野における密接な協力の継続にも焦点が当てられ、双方は新しい高電圧送電線の建設を歓迎した。

・「ジャ」外相との会談では、両国関係の更なる発展に向け、国境画定作業の迅速な完了の重要性が指摘された。

▼ヨルダン教育相のジョージア訪問(1日)

・トネイバ・ヨルダン副首相兼教育相がジョージアを訪問。クヴィリカシヴィリ首相、クムシシヴィリ経済・持続的発展相、ジャネリゼ外相、ジェジェラヴァ教育科学相らと会談。「ク」首相はジョージアの教育制度改革を紹介。「ト」ヨルダン副首相兼教育相は、ジョージアの経験を共有したいと述べた。

▼国家保安庁長官のアゼルバイジャン訪問(3日)

・ゴメラウリ国家保安庁長官がアゼルバイジャンを訪問。アリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談。アゼルバイジャン大統領府は、「治安機関を含む、さまざまな分野の二国間関係の拡大の重要性が指摘された。アゼルバイジャンとジョージアの治安機関の交流は両国の安全の強化に貢献している」とのコメントを発表した。

・「ゴ」国家保安庁長官は、グリエフ・アゼルバイジャン国家保安庁長官とも会談。情報と経験の共有に関する協

力について議論し、両国の国家保安庁間の協力に関する覚書に署名した。

▼大統領がリオ五輪開会式に出席(5日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領が夫人とともにリオ・デ・ジャネイロで行なわれたオリンピック開会式に出席。ジョージア選手団を激励。

・ブラジル滞在中、「マ」大統領は、ソウザ・ポルトガル大統領、ジョンストン・カナダ総督、アルベール2世モナコ大公らと会談。

3. 内 政

▼国防相、和解・市民平等担当国務大臣の任命(1日)

・クヴィリカシヴィリ首相がイゾリア国家保安庁副長官を国防相に、また、ツイヘラシヴィリ和解・市民平等担当国務副大臣を和解・市民平等担当国務大臣に任命した。
・ヒダシェリ前国防相は、「政治家であるアラサニア元国防相がジャネリゼ元内相（現・安全危機対応評議会書記）と交代したのと同様に、再び、政治家に代わって治安関係者が国防相に就くのは、国内外に誤ったメッセージを送ることになる」として、「イ」新国防相の任命を批判。ウスパシヴィリ国会議長も同様の理由で「イ」新国防相の任命を批判した。

▼婚姻に関する規定をめぐる住民投票(1日)

・婚姻を男女間のものとする規定の是非を問う住民投票の実施に向け、市民グループが、集めた署名を中央選挙委員会に提出。中央選挙委員会に必要な20万以上の署名を有効と認め、1日、大統領に住民投票の実施に関する請願を送付した。

・大統領は30日以内に住民投票を実施するか否かを決定する。住民投票の実施には首相の同意が必要。

▼ソ連旗の掲揚に対する警告(3日)

・社会主義ジョージア人民運動党が、ゴリ、バトゥミなどで開催した集会でソ連旗を掲げたとして、ジョージア自由憲章の実施を監督する国家委員会から警告を受けた。同党はロシアとの「戦略的な軍事同盟」の必要性を主張し、ユーラシア連合への加盟を唱えている。

・2011年に制定（2013年末に改正）されたジョージア自由憲章は、ソ連およびナチス・ドイツのシンボルを公に表示することを禁止している。警告後に再度違反した場合には罰金1000ラリが科される。

▼憲法裁判所長官の尋問(4日)

・7月21日にパプアシヴィリ憲法裁判所長官が、憲法裁判所の一部の裁判官が政府に有利な判決を下したり、審

理を長引かせるよう圧力を受けていると述べたことに関し、検察は同憲法裁判所長官の尋問を実施。

・他の8名の裁判官の尋問は既に終了している。検察は、8月1日に、「パ」長官以外の裁判官は全員圧力を受けたことを否定したとの声明を発表した。

▼新しい選挙連合の結成(5日)

・新政治センター「ギルチ」と新ジョージア党（ともに統一国民運動を離党した議員らが結成）、新右派党の3党が10月の国会選挙に向け連合「新しい選択」を形成することを発表。会見でヴァシャゼ新ジョージア党党首は、「我々は個人の自由、経済的自由、西側志向の3つの原則のもとで結束している」と述べた。また、ジャパリゼ「ギルチ」党首は、親露勢力が増している状況で、西側を志向する勢力は結束せねばならないと述べた。

▼中央選挙委員会が有権者数を発表(6日)

・中央選挙委員会が最新の有権者数を発表。3,452,093人。
・中央選挙委員会は年に4回、有権者名簿を更新するよう義務づけられており、今回は10月3日までに新しい有権者名簿を発表する。

▼2008年8月の戦争から8年が経過したことに因む外務省声明(7日)

・2008年8月の戦争から8年が経過したことに因み、外務省が声明を発表。ジョージア政府の実務的な姿勢により、紛争の激化の脅威は著しく減少したが、被占領地域

の治安・人道状況は深刻なままであるとして、ロシアの「挑発的な行動」にも拘らずジョージアは紛争の平和的な解決を追求すると述べている。

4. 経 済

▼2016年1月～7月の入国者数(2日)

・内務省が発表。2016年1月～7月の入国者数は3,400,335人、前年同期比10.6%増。

・2016年6月の入国者数は764,022人、前年同月比3.5%増。出身国別では多い順にアゼルバイジャン（前年同月比4.4%増）、アルメニア（同7.4%減）、トルコ（同7.9%減）、ロシア（同2.7%増）、イラン（同575.3%増）、ウクライナ（同18.4%増）、イスラエル、カザフスタン、ポーランド、ベラルーシ、ドイツ、サウジアラビア。EU諸国からの入国者数は同4.0%増。

▼2016年7月のインフレ率(3日)

・国家統計局が速報値を発表。月間インフレ率は0.2%。食料品・非アルコール飲料の価格が0.4%低下。アルコール飲料・タバコの価格が1.3%上昇、輸送費が1.3%上昇。
・年間インフレ率は1.5%。アルコール飲料・タバコの価格が13.1%上昇、医療費が4.1%上昇、輸送費が8.6%低下。